

警 察 署 協 議 会 会 議 録

門司警察署協議会

開催年月日時	令和3年3月30日 午後4時05分 から 令和3年3月30日 午後4時50分 まで	
開催場所	福岡県門司警察署3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警察署	署長、副署長、会計課長、総務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議 事 概 要		
<p>【署長挨拶】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日は御多用の中、お集まりいただき、また、平素から警察活動全般にわたり深い御理解と、御協力を賜りお礼申し上げます。 ○ 春の人事異動により新体制となり、今後も署員一人一人が警察の責務を自覚し、御理解と御協力を得ながら、安心して生活できるよう最大限の努力をしていく覚悟である。 ○ 本日の協議会では、各課長から昨年の治安情勢等について説明の後、今年の重点推進事項について報告する。 ○ お気づきになった点や、忌憚のない御意見を賜りたいと考えているのでよろしく願います。 <p>【会長挨拶】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 協議会委員として8年が経ち、未熟ながらも会長職を4年間勤めさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいである。これからもよろしく願います。 <p>【地域課長】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域課長として、交番・駐在所を持つ地域課は、委員の皆さんと一番身近なところで仕事をしており、管内住民の皆さんとともに、門司署管内の安全安心を担っていく所存である。 <p>【交通課長】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通課長として、まだまだ知識と経験が不足しているが、一生懸命頑張っていくので今後とも御指導をお願いする。 <p>【報告事項等】 令和3年門司警察署重点推進事項 1 総務課 (1) ワークライフバランスを実現するための取組の推進</p>		

議 事 概 要

- (2) 若手警察官の早期育成及び術科訓練の推進
- (3) 警察業務への理解と協力の確保
- 2 会計課
適正な会計業務の推進
- 3 生活安全課
 - (1) 子供・女性を性犯罪・性暴力から守るための対策の推進
 - (2) ニセ電話詐欺予防対策の推進
 - (3) 人身安全関連事案への迅速・的確な対処
 - (4) 区民との協働による施策の推進
- 4 地域課
 - (1) 令和3年実績目標に向けて
 - (2) 若手警察官の早期実務能力の向上
 - (3) 街頭活動の強化
- 5 刑事課
 - (1) 令和3年の数値目標
 - (2) 身近な犯罪の徹底検挙と鑑識活動の徹底
 - (3) 性犯罪や重要凶悪事件の早期検挙
 - (4) あらゆる捜査活動を通じた暴力団情報の収集
 - (5) 刑事課内の良好な関係の維持とワークライフバランスの推進
- 6 交通課
 - (1) 交通事故（人身事故）抑止目標（署独自設定目標）
 - (2) 交通違反検挙管理指標（署独自設定目標）
 - (3) 交通規制要望に対する迅速かつ適正な対応
- 7 警備課
 - (1) テロの未然防止
 - (2) 災害対策の強化

【質疑・意見・要望等】

○ 委員から、

コロナ禍で感染防止対策をしながらの訓練はどのように行っているのか。
旨の質疑があり、総務課長から

基礎体力向上のため、当署武道場のトレーニング器具を充実させている。

昨年は柔剣道訓練を中止した時期もあったが、4月1日からは、参加人数を制限し、毎日訓練を行う。最大限感染防止に注意を払いながら、職員一人一人の技能を向上させるよう取り組む。

旨の回答があり、さらに署長から

会議終了後、是非とも道場を見ていただきたい。受傷事故などで部下を失うことが警察幹部として一番辛く、特に若手職員は親御さんから預かっているという気持ちでしっかり指導していきたい。

旨の回答があった。

○ 委員から、

コロナ禍のイベント開催について、8月に門司区内である花火大会を例年

議 事 概 要

通り行くと密になり大変なことになるが、警察としてどのような方針なのか。

旨の質疑があり、警備課長から

コロナ感染防止対策は県が主体で行っており、イベントの開催については、警察は雑踏事故対策を担っている。コロナ対策の主体である福岡県と連携しつつ、イベントの主催者側に雑踏事故防止と併せて感染防止対策の指導を行っていく。

旨の回答があった。

○ 委員から、

門司警察署は少年補導の数が県下で8位であるとの報告を受けたが、門司区内は他の地域と比べて少年の数が少ないのに、補導件数の割合が高いという意味であるか。

旨の質疑があり、地域課長から

補導件数の割合が高いという意味であり、少年が夜間外に出て、行く所がないので公園等にい集することが多く、深夜徘徊による少年補導が多い状況である。

旨の回答があった。

○ 委員から、

働き方改革等で、以前よりコミュニケーションをとることが難しくなっている中で、管内の治安を守り、組織を動かしていくことは大変ではないか。

旨の質疑があり、署長から

コロナ禍で大人数での宴会等が開けずにコミュニケーションをとりずらくなっているが、幹部が自ら署員に歩み寄っていき、会話の機会を持つように心掛けている。また当署独自に、『自己チェック表』という仕事と私生活の両面での自己啓発表を作成し、上司に報告するなど、幹部と署員が対話する取組を行っている。さらに、コロナ感染防止対策を行った上で、署員間のコミュニケーションをとっていく各種施策を考えている。

旨の回答があった。

【閉会】（総務課長）

以上で、令和3年第1回門司警察署協議会を閉会する。